「用」と「美」の合一を追求する
ISUCO®

井上スダレ株式会社
〒586-0086 大阪府河内長野市天野町1014-1 TEL 0721-53-2581 FAX 0721-54-6506 URL http://www.sudare.co.jp
すだれ資料館 TEL 0721-53-1336 URL http://www.sudare.com

MANUAL
マニュアル

Vol.14

CONTENTS

① 生地 …… 01
②-1 タペストリーAタイプ …… 02
②-2 タペストリーBタイプ …… 02
②-3 タペストリーCタイプ …… 03

③-1 巻上Aタイプ …… 04
③-2 巻上Bタイプ …… 04
③-3～4 巻上A・Bタイプ資料 …… 05～06

④-1～4 ロールスクリーンA・Bタイプ …… 07～10
④-4 巻きズレした場合の対処方法 …… 10
④-4 ねじれた場合の対処方法 …… 10

⑤-1～2 ロールスクリーンCタイプ …… 11～12

⑥-1～2 ロールアップシェード …… 13～14
⑦-1～2 ローマンシェード …… 15～16
⑧-1～4 ロールアップシェード / ローマンシェード資料…… 17～20

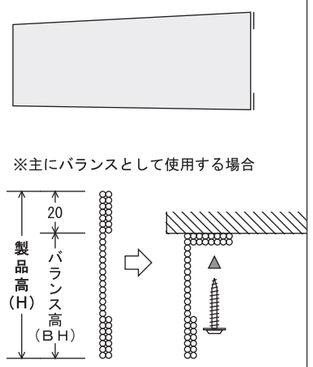
⑨-1・2 製品について …… 21～22

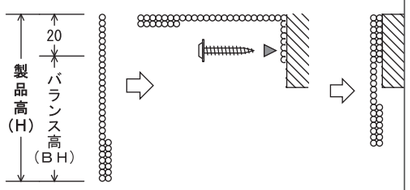
※カタログ名「源氏」・「いにしえ」の詳細は、各カタログをご覧ください

すだれ生地 ①

スダレの生地のみとなります。スタイルＡ～Ｃより、お選びください。

スタイルＡ	スタイルＢ	スタイルＣ
※主にバランスとして使用する場合	※主にバランスとして使用する場合	※主に建具などに使用される場合
バランス高（ＢＨ）＝製品高（Ｈ）－20㎜	バランス高（ＢＨ）＝製品高（Ｈ）－20㎜	生地の上・下端には、特殊接着により、ほつれ止め加工を施しています。 建具加工される際には、ほつれ止め加工の跡にご注意ください。

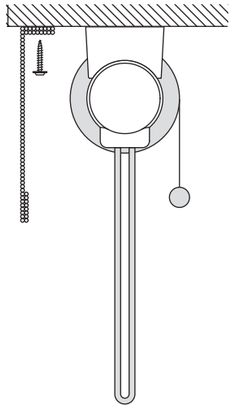




※バランスとして、ご使用される場合はＨ400程度までをおすすめします。
※間仕切りなどにご使用される場合は、各種タペストリー・各種ロールスクリーンをおすすめします。

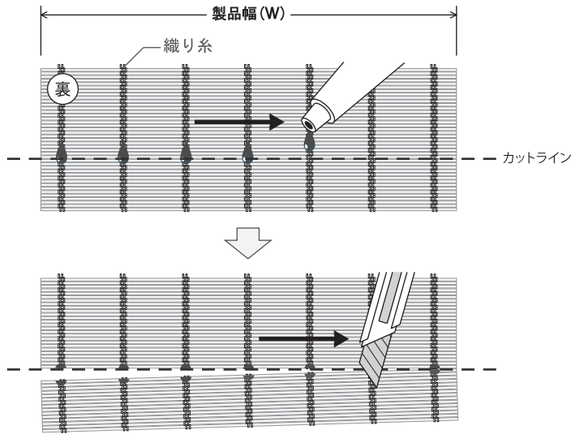
●バランス（前飾り）として、使用される場合

図はロールスクリーンＡタイプとの組合せ例
天井付（ビス直付）のみとなります



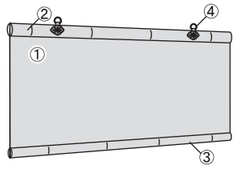
●建具用として（主にスタイルＣ）検討される場合

簾は伸縮がありますので、Ｈ寸法は長めをおすすめします。
生地のＨカットは、接着剤などで目止め（ホツレ）処理をしていただいた後、カットしてください。



タペストリーＡタイプ（旧 固定式 割竹桟） ②－１

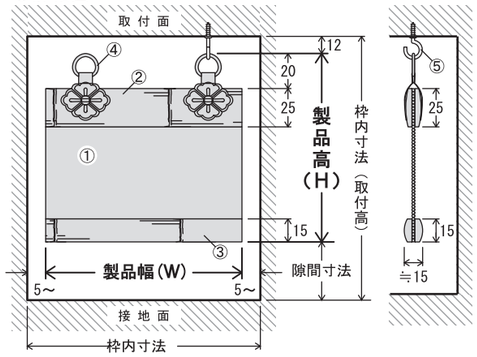
天然の割竹製に、生地をセットした吊り下げ式のスタイルです。



①生　　地
②割 竹 桟 ：（上部）
③割 竹 桟 ：（下部）
④吊 金 具 ：花菱
⑤取付金具 ：※図は洋灯吊使用例

※割竹桟の節・色・形状・サイズなどは、品番・個体差によって異なります。

●詳細図



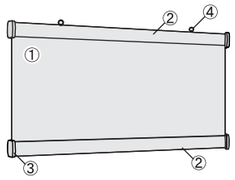
●取付金具入数

商品名	製品幅（W）	個数
小紋 こもれ 風雅 ゆらぎ	～1500	2
	～1820	3

●採寸・取付方法・洋灯吊以外の取付金具（オプション金具）については、P.03を参照してください。

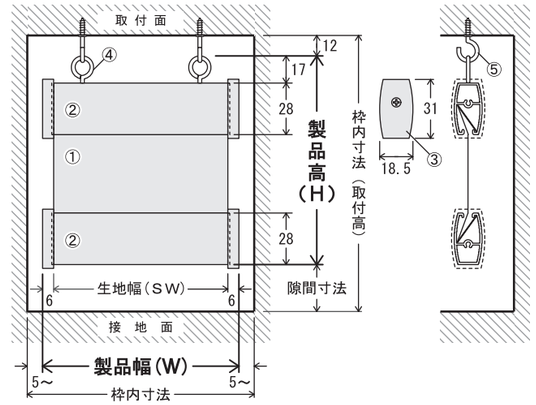
タペストリーＢタイプ（旧 固定式 舟形桟） ②－２

天然木をラッピングした変形に強いアルミ製のバーに、生地をセットした吊り下げ式のスタイルです。Aタイプよりも大きいサイズに対応しています。



①生　地
②アルミ舟形桟
③舟形桟用キャップ
④吊 金 具：ヒートン
⑤取付金具：※図は洋灯吊使用例

●詳細図

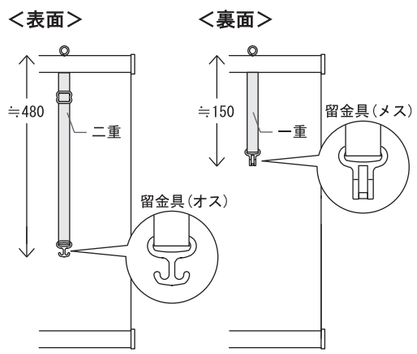


生地幅（ＳＷ）＝製品幅（W）－１２㎜

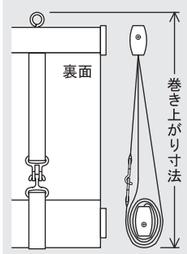
●取付金具入数

商品名	製品幅（W）	個数
フォレス こもれ 小紋	～1500	2
	～2400	3
	～2700	4
風雅	～1500	2
	～2400	3
ゆらぎ	～1500	2
	～2000	3
経木すだれ	～1500	2
	～2400	3
	～3000	4

オプション：巻上テープ（Ｂタイプのみ）



●巻き上げ図



●巻き上がり寸法

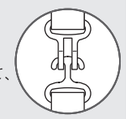
・二重状態（≒480㎜）の場合　→≒300㎜
・一重状態（≒840㎜）の場合　→≒500㎜

●必要本数

製品幅（W）	本数
～2000	2
～3000	3

●連結の仕方

①製品の下部を、下から手で丁寧に巻き上げます。
②製品の表面の巻き上げます。
③テープの留金具（オス）を製品の裏面にくぐらせて、留金具（メス）に差込み連結して固定します。

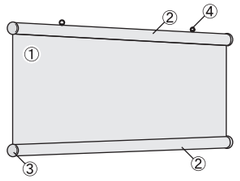


※巻き上げテープは、商品出荷後のセットはできません。

●採寸・取付方法・洋灯吊以外の取付金具（オプション金具）については、P.03を参照してください。

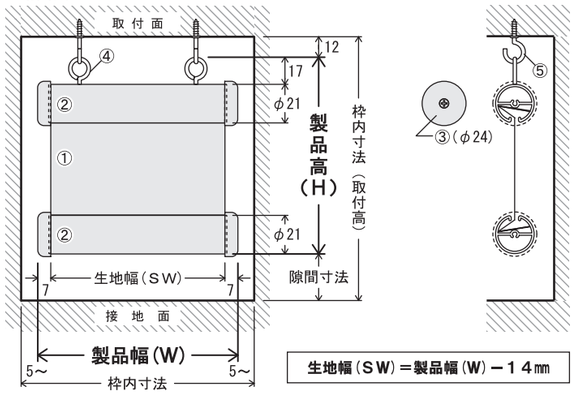
タペストリーCタイプ（旧 固定式 丸形桟） ②－３

天然木をラッピングした変形に強いアルミ製のバーに、生地をセットした吊り下げ式のスタイルです。Aタイプよりも大きいサイズに対応しています。



①生　地
②アルミ丸形桟
③ウエイトバーキャップ（A）
④吊 金 具：ヒートン
⑤取付金具：※図は洋灯吊使用例

●詳細図



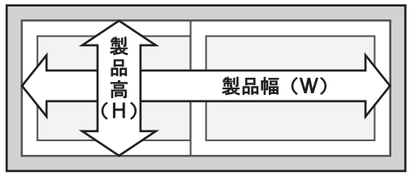
生地幅（SW）＝製品幅（W）－１４㎜

●取付金具入数

商品名	製品幅（W）	個数
フォレス こもれ 小紋	～1500	2
	～2400	3
	～2700	4
風雅	～1500	2
	～2400	3
ゆらぎ	～1500	2
	～2000	3
経木すだれ	～1500	2
	～2400	3
	～3000	4

■採寸方法①

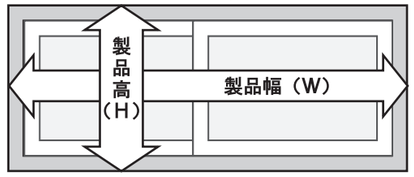
●窓枠の内側に取付する場合



①製品幅（W）＝窓枠の内側寸法（W）－隙間寸法（１０㎜以上）

②製品高（H）＝窓枠の内側寸法（H）－取付金具のH寸法－隙間寸法

●窓枠の外側に取付する場合



①製品幅（W）＝窓枠の外側寸法（両端に壁面など障害物がない場合）
※障害物がある場合は、障害物より片側５㎜以上を差し引いてください

②製品高（H）＝窓枠の外側寸法（H）－隙間寸法
※床などの設置面がある場合は、隙間寸法を差し引いてください

●製品高（H）の隙間寸法の目安

取付高（H）	隙間寸法
～ 500	10㎜以上
～1000	15㎜以上
～1500	20㎜以上
～2000	25㎜以上
～2400	30㎜以上

表を参考にして、設置面からの取付高の寸法に準じた隙間寸法を差し引いてください。

取付金具の寸法は、取付方法の項目を参考にして、隙間とは別に差し引いてください。

●製品高（H）の計算方法

例）取付高1800/洋灯吊/天井付の場合
◎製品高(H)＝1800－12(洋灯吊)－25(隙間寸法)＝ 1763

※腰窓などの場合は、隙間寸法を差し引かない場合もあります。

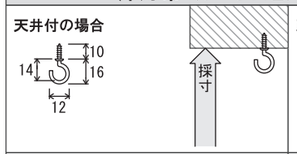
●採寸方法の注意点

①製作寸法は、W：H＝１：３が限度です。
②連装される場合は、製品と製品の間に５㎜以上の隙間を設けてください。
③巻上テープなどで巻き上げて使用されることが多い場合は、製品と製品の間に１０㎜以上の隙間をおすすめします。
④製品高（H）は、吊金具を含んだ寸法です。取付金具分は含んでおりません。ご注文の際には、取付金具分を差し引いた寸法をご指示ください。

■採寸方法②　／　取付方法

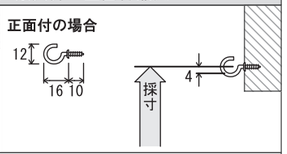
洋灯吊（ようとうづり）（ブロンズ色）※天井・正面付兼用

天井付の場合



製品高＝採寸高－１２㎜－隙間寸法

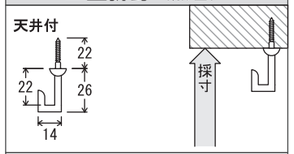
正面付の場合



製品高＝採寸高－２㎜－隙間寸法

二重折釘（にじゅうおれくぎ）（黒色）

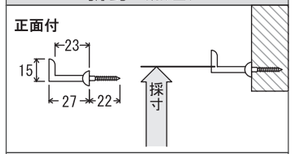
天井付



製品高＝採寸高－１９㎜－隙間寸法

折釘（おれくぎ）（黒色）

正面付



製品高＝採寸高－隙間寸法

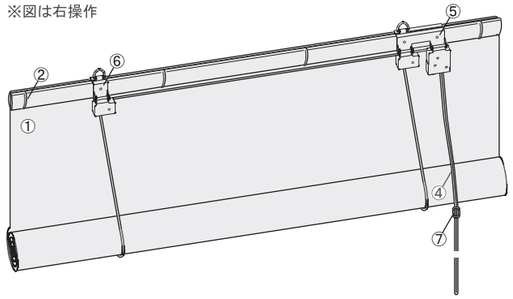
●取付時の注意点

①洋灯吊・折釘・二重折釘の取付けは、キリなどで下穴を軽く開けた後、最後までまっすぐに捻じ込んでください。
②取付金具は木下地用です。金具を取付する箇所が荷重に耐えれるかどうか十分考慮してください。決して石こうボードなどには使用しないでください。

巻上Aタイプ（旧 巻上式 割竹桟） ③－１

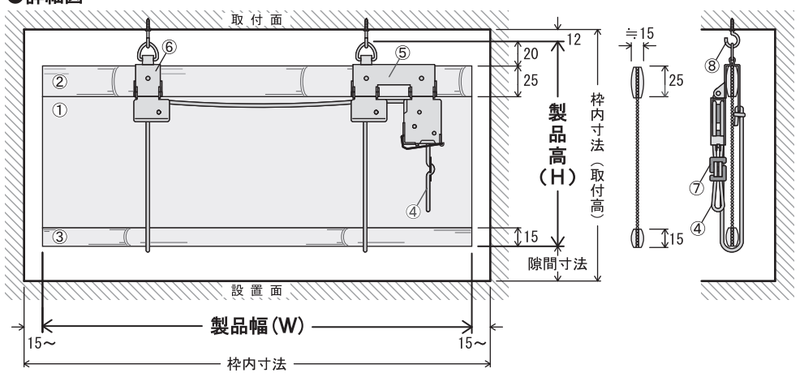
天然の割竹製に、簡易巻上金具をセットし、操作コードを引くと下方からロール状に巻き上がる昇降式のスタイルです。

※図は右操作



①生　地
②上部桟（割竹桟 25㎜）
③下部桟（割竹桟 15㎜）
④操作コード
⑤ｺｰﾄﾞﾛｯｸ&ﾌﾟｰﾘｰ 一体金具
⑥ｺｰﾄﾞﾌﾟｰﾘｰ金具
⑦Ｓ字タッセル
⑧取付金具（※図は洋灯吊使用例）

●詳細図



◎操作コードの位置について

操作位置（左・右）：ご注文時にご指定ください。
※ご指定のない場合は右操作セットとなります。

◎操作コードＬについて

商品Ｈ or 取付Ｈ	操作コードＬ
～900	400
～1200	500
～1500	600
～1800	700
～2400	製品高（H）－1100

※出窓・高窓の場合や、規定以外の長さをご希望の場合は、ご注文時にご指定ください。

●取付金具入数

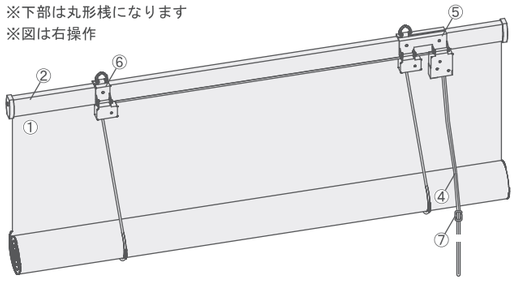
商品名	製品幅（W）	個数
小紋 こもれ ゆらぎ 風雅	～1500	2
	～1820	3

※割竹桟の節・色・形状・サイズなどは、個体差により異なります。

巻上Bタイプ（旧 巻上式 舟形桟） ③－２

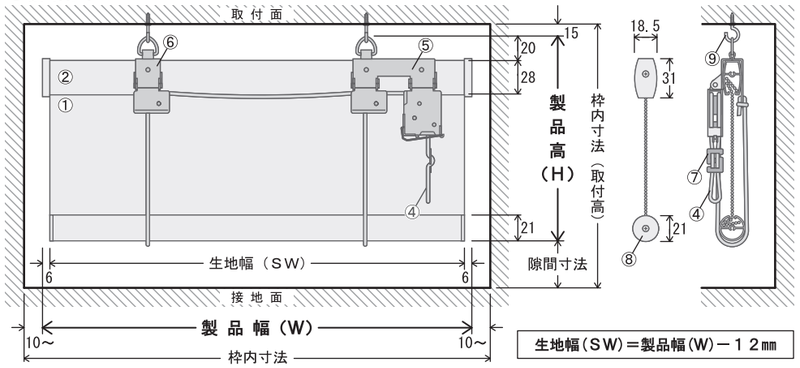
天然木をラッピングしたアルミ製のバーに、簡易巻上金具をセットし、操作コードを引くと下方からロール状に巻き上がる昇降式のスタイルです。

※下部は丸形桟になります
※図は右操作



①生　地
②上部桟（舟形桟）
③下部桟（丸形桟）
④操作コード
⑤ｺｰﾄﾞﾛｯｸ&ﾌﾟｰﾘｰ 一体式金具
⑥ｺｰﾄﾞﾌﾟｰﾘｰ金具
⑦Ｓ字タッセル
⑧ｳｴｲﾄﾊﾞｰｷｬｯﾌﾟ（Ｂ）
⑨取付金具（※図は洋灯吊使用例）

●詳細図



生地幅（SW）＝製品幅（W）－１２㎜

◎操作コードの位置について

操作位置（左・右）：ご注文時にご指定ください。
※ご指定のない場合は右操作セットとなります。

◎操作コードＬについて

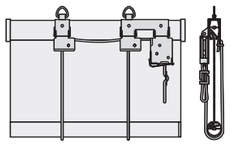
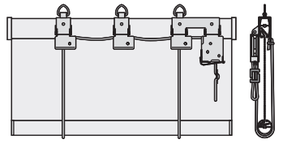
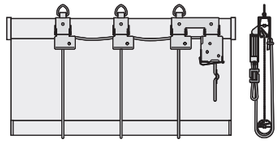
商品Ｈ or 取付Ｈ	操作コードＬ
～900	400
～1200	500
～1500	600
～1800	700
～2400	製品高（H）－1100

※出窓・高窓の場合や、規定以外の長さをご希望の場合は、ご注文時にご指定ください。

●取付金具入数

商品名	製品幅（W）	個数
ゆらぎ	～1500	2
	～2000	3
小紋 こもれ 風雅 経木すだれ	～1500	2
	～2400	3

■製品幅による各形状、及び昇降コード本数・取付金具標準数

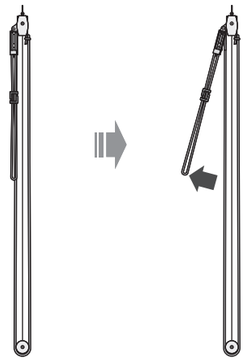
製品幅(W)	～W1500	～W1800（※1820）	～W2400
形　状			
昇降コード本数	2	2	3
取付金具標準数	2	3	3

※図は、右操作・巻上Ｂタイプの場合（巻上Ａタイプも同じ）

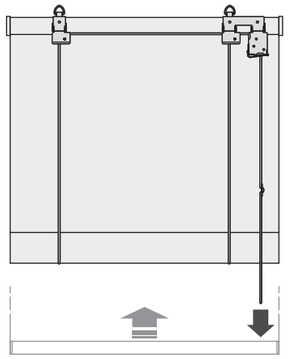
■操作方法

●シェードを上げる場合

1 両手で操作コードをしっかりと握りながら、操作コードをやや手前に傾けます。

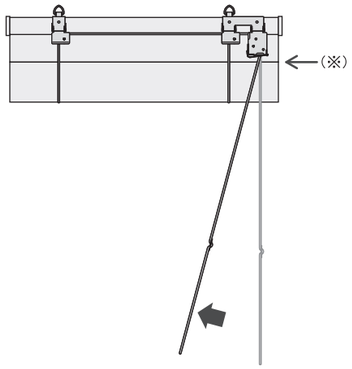


2 両手で操作コードをゆっくりと、垂直にして下に引きます。



※途中で両手を離さないようご注意ください。

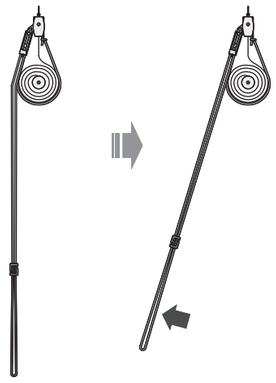
3 ご希望の位置になりましたら、操作コードを内側に引いて、確実にロックさせます。



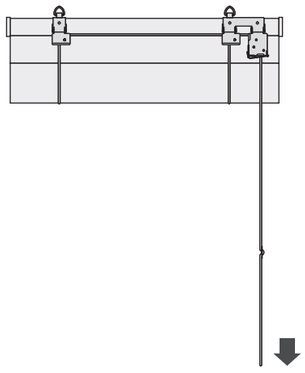
※コードロックに生地が当たらない位置で止めてください。

●シェードを下げる場合

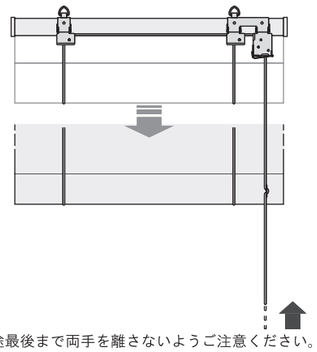
1 両手で操作コードをしっかりと握りながら、操作コードをやや手前に傾けます。



2 両手で操作コードをやや下に引きますと、ロックが解除されます。



3 ロック解除された状態で操作コードは垂直のまま、両手を離さずにゆっくりと操作コードを上に戻しながらシェードを下げます



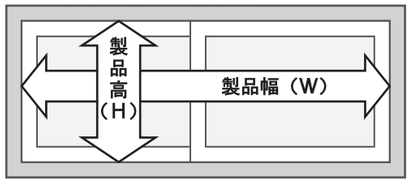
※途最後まで両手を離さないようご注意ください。
※途中で止めたい場合は、上げる場合を参照してください。

●操作時の注意点

①図は、右操作・巻上Ｂタイプの場合です。（巻上Ａタイプも同じです）左操作の場合は逆の手順で操作してください。
②生地を下げる場合は、必ず下がりきるまで両手を放さずに操作してください。途中で手を放してしまうと、無理な力がかかり破損・故障の原因になります。
③取付位置が高い場合は操作がしにくい場合があります。
④下部で止めようとすると、生地が軽いためにロックしにくい場合があります。

■採寸方法①

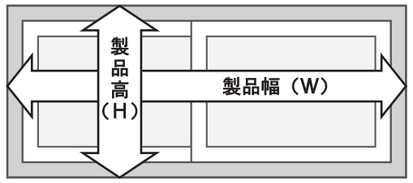
●窓枠の内側に取付する場合



①製品幅(W)＝
※下記の隙間寸法を差し引いてください。
◎巻上Ａタイプ　＝　窓枠の内側寸法(W)－３０㎜以上
◎巻上Ｂタイプ　＝　窓枠の内側寸法(W)－２０㎜以上

②製品高(H)＝窓枠の内側寸法(H)－取付金具のＨ寸法－隙間寸法

●窓枠の外側に取付する場合



①製品幅(W)＝窓枠の外側寸法（両端に壁面など障害物がない場合）
※障害物がある場合は、下記の隙間寸法を差し引いてください。
◎巻上Ａタイプ　＝　障害物より、片側１５㎜以上
◎巻上Ｂタイプ　＝　障害物より、片側１０㎜以上

②製品高(H)＝窓枠の外側寸法
※床などの設置面がある場合は、隙間寸法を差し引いてください。

●採寸方法の注意点

①製作寸法は、Ｗ：Ｈ＝１：３が限度です。
②取付位置が高い場合は操作がしにくい場合があります。
③連装される場合は、製品と製品の間に下記の隙間寸法を差し引いてください。
◎巻上式 割竹桟の場合　＝３０㎜以上
◎巻上式 舟形桟の場合　＝２０㎜以上

④窓枠の外側に取付する場合で、昇降時に生地が窓枠などに干渉したくない場合は、＜窓枠の内側に取付する場合＞と同じ要領で計算してください。
⑤製品の仕上高(H)は、吊金具を含んだ寸法です。取付金具分は含んでおりません。ご注文の際には、必ず取付金具分を差し引いた寸法をご指示ください。

●製品高(H)の隙間寸法の目安

表を参考にして、設置面からの取付高の寸法に準じた隙間寸法を差し引いてください。
取付金具の寸法は取付方法の項目を参考にして、隙間寸法とは別に差し引いてください。

取付高	隙間寸法
～1000	15㎜以上
～1500	20㎜以上
～2000	25㎜以上
～2400	30㎜以上

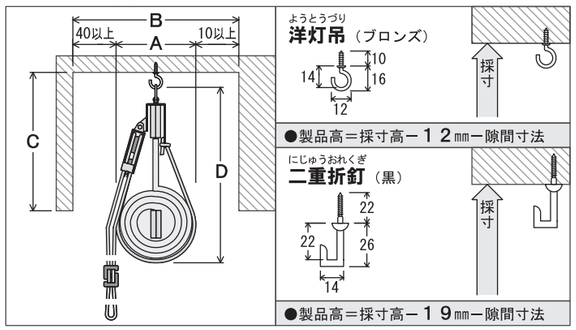
●製品高(H)の計算方法

例）取付高1800/洋灯吊/天井付の場合
◎製品高(H)＝1800－12(洋灯吊)－25(隙間寸法)＝ 1763

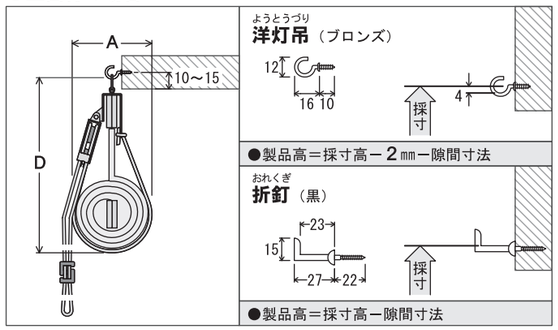
※腰窓などの場合は、隙間寸法を差し引かない場合もあります。

■採寸方法②　／　取付方法

●天井付の場合



●正面付の場合



◎ボックス寸法の目安について

Ａ：巻きの直径　＝　巻径目安表を参照
Ｂ：ボックスの奥行き　＝　Ａ＋５０㎜以上
Ｃ：ボックスの高さ　＝　洋灯吊の場合　→ ～１６０㎜程度を推奨
　　＝　二重折釘の場合　→ ～１７０㎜程度を推奨
Ｄ：巻上時の製品高(H)＝　Ａ＋１２０㎜

※Ｃ寸法を深くすると、操作時に操作コード・コードロックがボックスに、接触する場合がありますのでご注意ください。

◎取付金具寸法について

取付金具のサイズと差し引く寸法は、取付金具の厚みにより異なります。

●取付時の注意点

①洋灯吊・折釘・二重折釘の取付けは、キリなどで下穴を軽く開けた後、最後までまっすぐに捻じ込んでください。
②取付金具は木下地用です。
金具を取付する箇所が荷重に耐えれるかどうか、十分に考慮してください。決して石こうボードなどには使用しないでください。

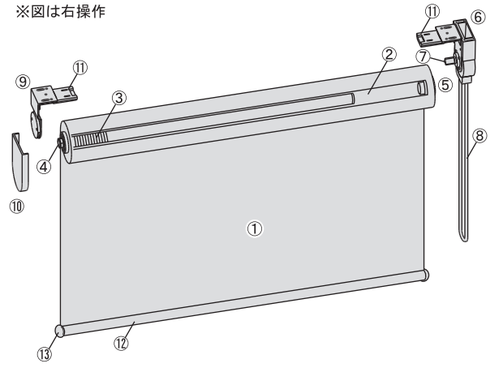
■巻径目安表

製品名		経木すだれ		小紋	こもれ		ゆらぎ		風雅
生地品番		ＫＧ-31～34	ＫＧ-41～44	全柄	ＫＭ-21～24	ＫＭ-31～34	ＹＲ-11～13	ＹＲ-21～25	全柄
H	～ 900	60	60	50	45	50	55	60	60
	～1200	65	70	55	50	55	60	70	65
	～1500	70	80	60	55	60	65	80	70
	～1800	75	90	65	60	65	70	90	75
	～2100	80	100	70	65	70	75	100	80
	～2400	85	110	75	70	75	80	110	85

ロールスクリーンA・Bタイプ（旧 4型ロールブラインド） ④－１

操作コードを引くと生地（スクリーン）がパイプに巻き取ることで昇降し、お望みの位置で自由に止めることができます。

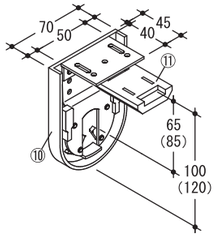
※図は右操作



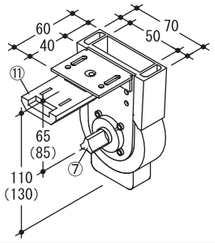
①生地（スクリーン）
②パイプ
③バランサー
④センターピン
⑤プラグ
⑥コード側ブラケット
⑦シャフト
⑧操作コード
⑨エンド側ブラケット
⑩ブラケットカバー
⑪まわり止め
⑫ウェイトバー
⑬ウェイトバーキャップ

●ブラケット65・85図　（　）内の数字：ブラケット85

⑨エンド側ブラケット



⑥コード側ブラケット



◎ブラケットのタイプの目安

タイプ	巻径の目安
ブラケット65	～≒φ105
ブラケット85	～≒φ160

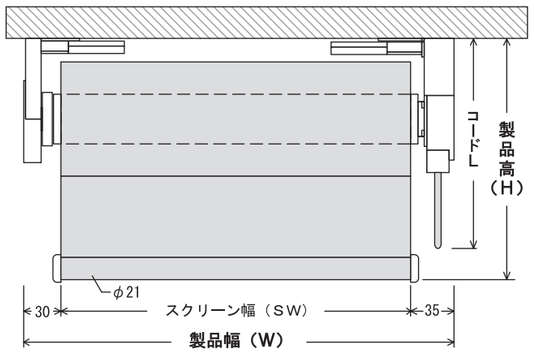
※ロットにより巻径が異なる場合がありますので、ブラケットタイプは都度、ご確認ください。

◎取付金具・取付金具入数

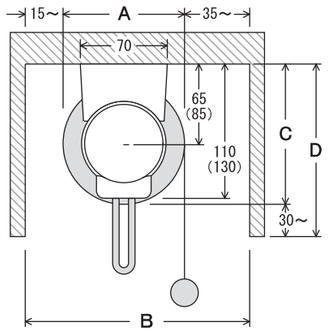
名　称	個数
各ブラケット	各１
取付ビス	各４

※落下・巻きずれの原因になりますので、ブラケットの取付ビスの数量・取付位置をお守りください。

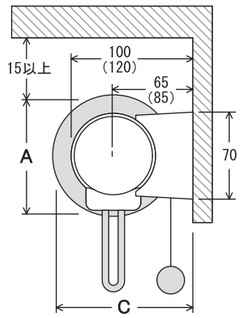
●正面図



●側面図（天井付）



●側面図（正面付）



スクリーン幅（SW）＝製品幅（W）－６５mm

◎ＡタイプとＢタイプの違い

ＡタイプとＢタイプは同形状ですが、巻取パイプ径が異なります。
そのため同じ製品Ｈで連装する場合でも巻径が異なる場合があります。
※～W2400とW2401～を連装する場合は、W2400以下のサイズでもＢタイプをおすすめします。
・Ａタイプ（～W2400）：巻取パイプ径　φ40
・Ｂタイプ（～W3000）：巻取パイプ径　φ50

◎ボックスの大きさの目安について

巻きの直径　：Ａ＝巻きの直径　目安表(P.10)参照
ボックスの奥行き　：Ｂ＝直径Ａ＋50mm以上
巻き径の下部から天井部まで　：Ｃ＝直径Ａ÷２＋65（85）mm
ボックスの高さ　：Ｄ＝Ｃ＋30mm程度　が目安となります
※Ａは巻径φ70以下の場合でも、最小70としてお考えください。

◎操作コードＬについて

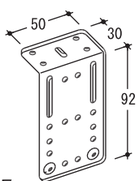
製品Ｈ or 取付Ｈ	操作コードＬ
～ 900	－100
～1200	－200
～1500	－300
～1800	－400
～2400	－500
～3000	－600

※出窓・高窓の場合や規定以外の長さをご希望される場合は、ご注文時にご指定ください。

◎操作コードの位置・取付位置について

操作コードの位置（左・右）は、ご注文時にご指定ください。
ご指定のない場合は右操作にセットとなります。
取付位置（天井付・正面付）も同様に、ご注文時にご指定ください。
※ご指定のない場合は、天井付にセットとなります。

■オプション：補助金具



補助金具は、取付面に対して余裕がない場合などに、ご使用ください。

例１）の取付方の場合

①補助金具に、ロールスクリーンＡタイプ・（ロールスクリーンＢタイプ）を天井付でセットします。
②補助金具は、取付面に正面付で取付けします。

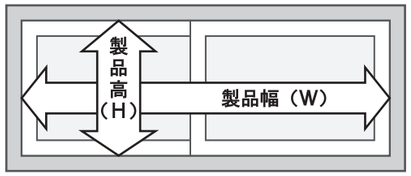
例２）の取付方の場合

①補助金具に、ロールスクリーンＡタイプ・（ロールスクリーンＢタイプ）正面付でセットします。
②補助金具は、取付面に天上付で取付けします。

ロールスクリーンA・Bタイプ ④－２

■採寸方法　／　取付方法①

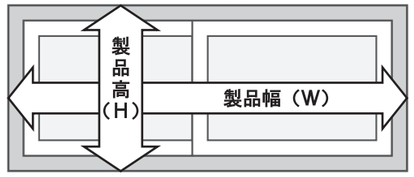
●窓枠の内側に取付する場合



①製品幅(W)＝窓枠の内側寸法－隙間寸法（５～１０mm程度）

②製品高(H)＝窓枠の内側寸法

●窓枠の外側に取付する場合



①製品幅(W)＝窓枠の外側寸法（両端に壁面など障害物がない場合）
※障害物がある場合は、障害物より５mm程度差し引いてください。

②製品高(H)＝窓枠の外側寸法
※床などの設置面がある場合は、隙間寸法を差し引いてください。

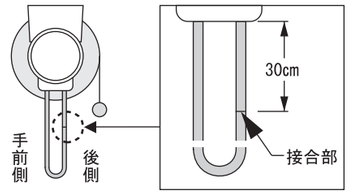
●採寸方法の注意点

①製作寸法は、W：H＝1：3が限度です。
②連装される場合は、製品と製品の間に3～5mm以上の隙間寸法を設けてください。

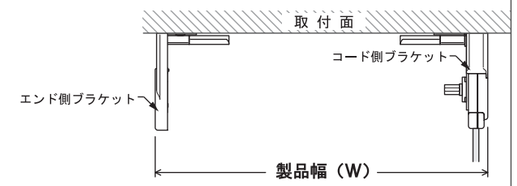
■取付方法②

＜右操作の場合＞　→右側にコード側ブラケット（左側にエンド側ブラケット）　／　＜左操作の場合＞　→左側にコード側ブラケット（右側にエンド側ブラケット）

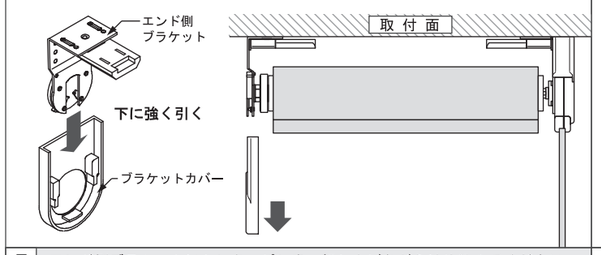
1 取付前の確認として、操作コードの接合部が図の位置に調整してください。



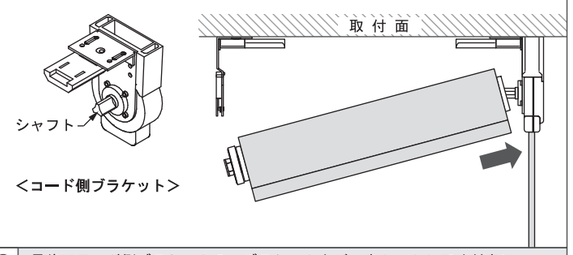
2 各ブラケットの取付位置は、各ブラケットの両端までの寸法(W)です。
取付位置寸法は正確にしてください。
各ブラケットは、左右が平行になるように取り付けてください。



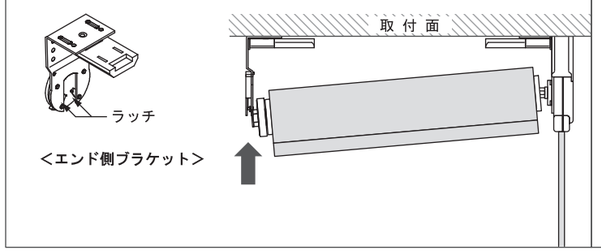
3 各ブラケットの取付が完了後、エンド側ブラケットのカバーを外してください。



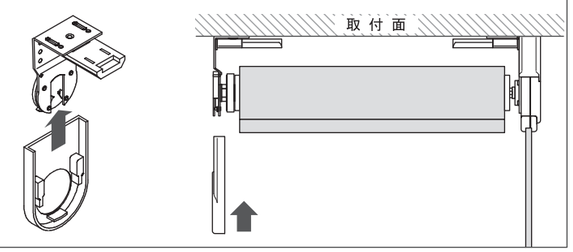
4 コード側ブラケットのシャフトに、本体のプラグ側を差し込んでください。



5 エンド側ブラケットにセンターピンを、押し上げながらはめ込んでください。
外れ止めのラッチがありますので、確実にはめ込んでください。



6 最後にエンド側ブラケットの、ブラケットカバーをセットしてください。

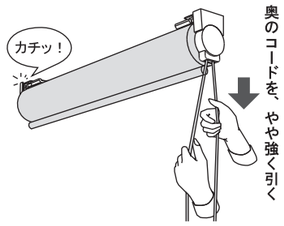


●取付時の注意点

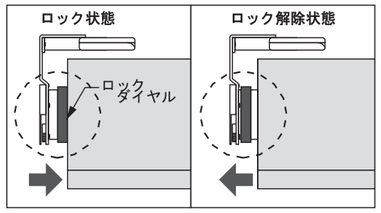
①取付金具は木下地用です。金具を取付する箇所が荷重に耐えれるかどうか十分考慮してください。決して石こうボードなどには使用しないでください。
②落下・巻きずれの原因になりますので、ブラケットの取付ビスの数量・取付位置をお守りください。
③ブラケットがずれて取付けられていると、昇降不良や異音の原因になりますので正確に取付けてください。

■操作方法　※操作は丁寧にゆっくりとしてください。

奥の引き下げ側のコードを、やや強めに引き降ろしてください。「カチッ」と音が鳴り初巻きロックダイヤルが解除となり、バランサーが作動し操作が可能になります。



●エンド側ブラケット側

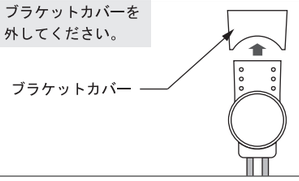


●操作時の注意点

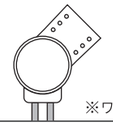
①生地（スクリーン）の昇降は、必ず操作コードで行ってください。
②操作はゆっくり丁寧にしてください。
　決して急な操作はしないでください。
③操作時は巻きズレしないか、確認しながら操作してください。
　巻きズレが出た場合は、手で整えてから操作してください。

■コード側ブラケット正面付けの場合の角度調整方法

1 ブラケットカバーを外してください。

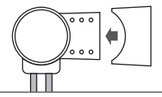


2 コード側ブラケットのコードプーリー装置を、手で90度回転させてください。



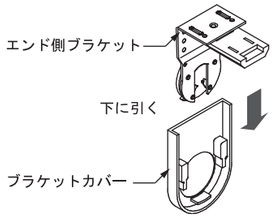
※ワンタッチで45度ずつ調整できます。

3 ブラケットカバーをセットしてください。



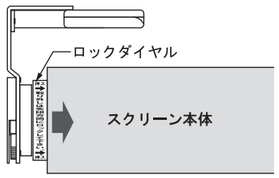
■スクリーン本体の取外し方

1 エンド側ブラケットのブラケットカバーを、外してください。

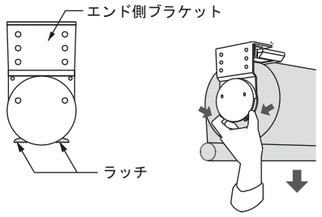


2 生地（スクリーン）を巻き上げ、ロックダイヤルを矢印方向にスライドさせると「カチッ」と音が鳴り、初巻スプリングがロックされます。

※図はロック状態です。



3 スクリーン本体を少し押し上げつつ、２つのラッチを押さえながら、スクリーン本体を外してください。

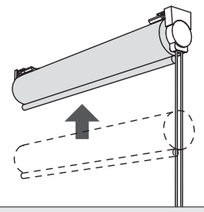


■ロックダイヤルをかけ忘れて、スクリーン本体を外してしまった場合　※初巻きが解除され、操作ができなくなります

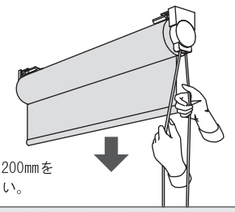
1 初巻き回数を確認してください。

※初巻き回数は、本体側面のシールに表示しています。
（エンド側ブラケット方向）

2 生地（スクリーン）を巻き上げた状態で、ブラケットに取付けてください。

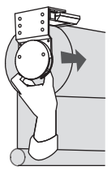


3 初巻きの回数分だけ操作コードで、生地を引き下げてください。

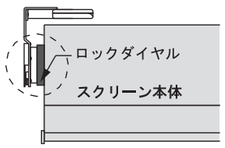


※初巻き１回で、≒200㎜を目安としてください。

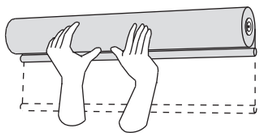
4 生地を引き下げた状態で、初巻きロックダイヤルを矢印方向にスライドさせてロックします。
次に、スクリーン本体を取外します。



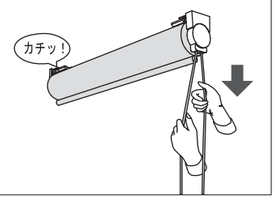
※図はロック状態です。



5 生地を手で巻き取ってください。
次に、巻き取った状態でブラケットに、スクリーン本体を取付けてください。



6 操作コードをやや強めに引き降ろすと、「カチッ」と音が鳴りますと完了です。



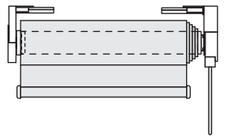
■巻径目安表

商品名		フォレス		経木すだれ				小紋		こもれ				ゆらぎ		風雅
品番		全品番		ＫＧ-31～34		ＫＧ-41～44		全品番		ＫＭ-21～24		ＫＭ-31～34		ＹＲ-11～13	ＹＲ-21～25	全柄
タイプ / パイプ径		A φ40	B φ50	A φ40	B φ50	A φ40	B φ50	A φ40	B φ50	A φ40	B φ50	A φ40	B φ50	A φ40		A φ40
H	～1000	57	67	71	81	78	88	66	76	59	69	65	75	65	80	70
	～1200	62	72	77	87	84	94	71	81	64	74	70	80	70	85	75
	～1500	66	76	83	93	90	100	76	86	69	79	75	85	75	90	80
	～1800	70	80	88	98	95	105	80	90	73	83	79	89	80	95	85
	～2100	73	83	93	103	100	110	84	94	77	87	83	93	85	100	90
	～2400	76	86	98	108	105	115	88	98	80	90	86	96	90	105	95
	～2700	79	89	103	113	110	120	92	102	83	93	89	99	95	110	100
	～3000	82	92	108	118	115	125	95	105	86	96	92	102	100	115	105

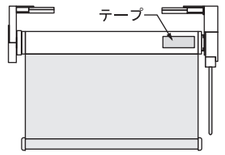
■巻きズレなどが生じた場合の対処方法

例①　テープで調整する場合

1 スクリーンに、巻きズレが出ましたら操作を止めてください。
次に巻きズレしている側を、確認してください。
※図は右側です。

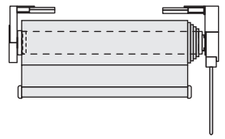


2 スクリーンをパイプが見えるまで、下げてください。
次に巻きズレした側に、市販の厚みのあるテープを貼ってください。
※直らない場合はテープを重ねて、厚みを調整してください。

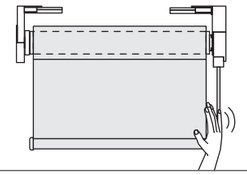


例②　手で調整する場合

1 スクリーンに、巻きズレが出ましたら操作を止めてください。
次に巻きズレしている側を、確認してください。
※図は右側です。

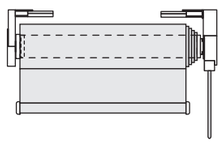


2 スクリーンを下部まで下げ、ゆっくりと上げます。
巻きズレが出てきましたら、手でスクリーンを引っ張り、調整してください。

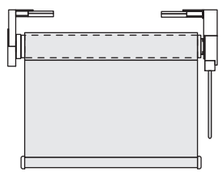


例③　挟み込む場合

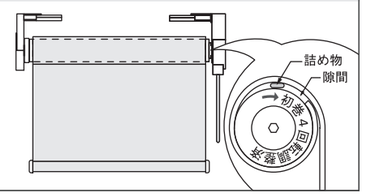
1 スクリーンが図のように、巻きズレが出ましたら、操作をやめてください。
次に巻きズレしている側を、確認してください。
※図は右側です。



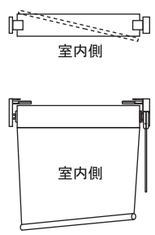
2 スクリーンをパイプが見えるまで、下げてください。



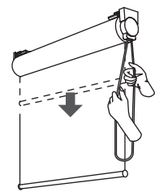
3 巻きズレしている側のスクリーンと、パイプの間に詰め物として、段ボールなどを挟み込みます。



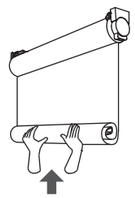
■ねじれなどが発生した場合の対処方法　※図はウエイトバーの右側が室内側にねじれている場合



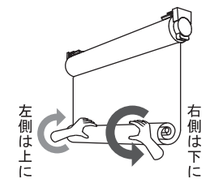
1 スクリーンを、ゆっくりと下部まで下ろします。



2 手で、ねじれている位置の手前まで、スクリーンを巻き上げます。



3 スクリーンを矢印方向にしぼるようにねじり、クセをつけます。



◎巻きズレ・ねじれについて

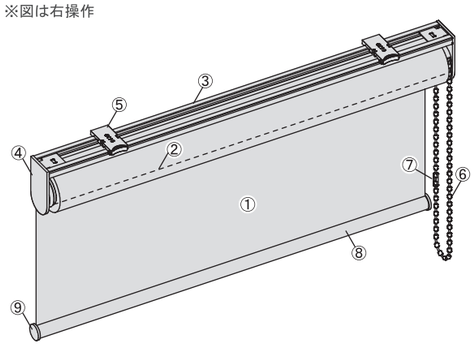
天然素材を使用している製品の特性上、生地（スクリーン）が巻きズレ（ゆがみ）したり、ねじれるなどの現象が生じる場合があります。（P.21・22参照）
その際は、各対処方法で調整してください。

※図はロールスクリーンＡ（Ｂ）タイプですが、同じ要領でロールスクリーンＣタイプ・各種セットシェードタイプ・各種巻上タイプ・ロールアップシェード・ローマンシェードも参考にしてください。

ロールスクリーンCタイプ　⑤－１

ビーズチェーンを操作することにより、生地(スクリーン)を昇降することができます。

※図は右操作



①生地(スクリーン)　④サイドホルダー　⑦チェーンコネクタ
②ローラーパイプ　⑤ブラケット　⑧ウェイトバー
③セットバー　⑥ビーズチェーン　⑨ウェイトバーキャップ(A)

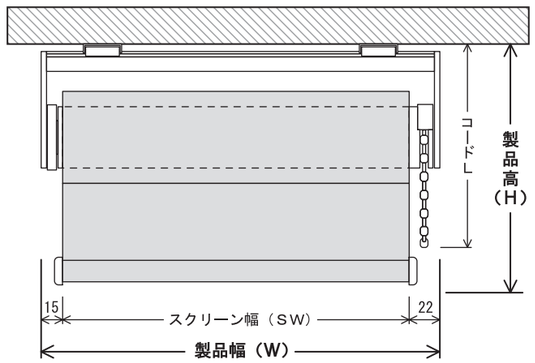
●ブラケット図（天井・正面付兼用）

◎取付金具・取付金具入数について

取付金具入数は、右の表の通りです。
落下・巻きずれの原因になりますので、ブラケットの取付ビスの数量・取付位置をお守りください。

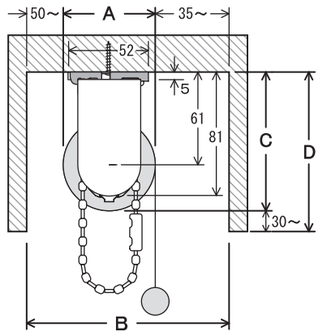
製品幅(W)	ブラケット・取付ビス
～1000	各２個
～1400	各３個
～1500	各４個

●正面図

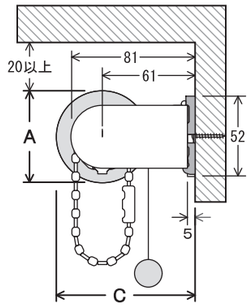


スクリーン幅（SW）＝製品幅（W）－３７mm

●側面図（天井付）



●側面図（正面付）



◎ボックスの大きさの目安について

巻きの直径　：Ａ＝巻径　目安表(P.12)参照
ボックスの奥行き　：Ｂ＝直径Ａ＋85mm以上
巻き径の下部から天井部まで　：Ｃ＝直径Ａ÷２＋61mm
ボックスの高さ　：Ｄ＝Ｃ＋30mm程度　が目安となります

◎操作コードの位置・取付位置について

操作コードの位置（左・右）は、ご注文時にご指定ください。
※ご指定のない場合は右操作にセットとなります。

取付位置（天井付・正面付）も同様に、ご注文時にご指定ください。
※ご指定のない場合は、天井付にセットとなります。

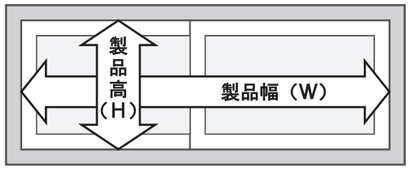
◎操作コードＬについて

製品Ｈ or 取付Ｈ	操作コードＬ
～ 900	－100
～1200	－200
～1500	－300
～1800	－400
～2000	－500

※出窓・高窓の場合や規定以外の長さをご希望される場合は、ご注文時にご指定ください。

■採寸方法

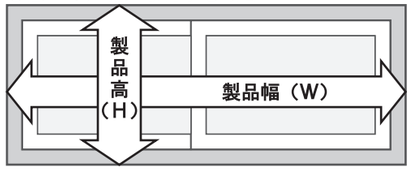
●窓枠の内側に取付する場合



①製品幅(W)＝窓枠の内側寸法－隙間寸法（５～１０mm程度）

②製品高(H)＝窓枠の内側寸法

●窓枠の外側に取付する場合



①製品幅(W)＝窓枠の外側寸法（両端に壁面など障害物がない場合）
※障害物がある場合は、障害物より５mm程度差し引いてください。

②製品高(H)＝窓枠の外側寸法
※床などの設置面がある場合は、隙間寸法を差し引いてください。

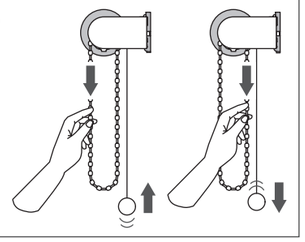
●採寸時の注意点

①製作寸法は、W：H＝1：3が限度です。
②連装される場合は、製品と製品の間に3～5mm以上の隙間を設けてください。

ロールスクリーンCタイプ　⑤－２

■操作方法

◎上昇：手前のビーズチェーンを引く。
◎下降：奥のビーズチェーンを引く。
※図は右操作

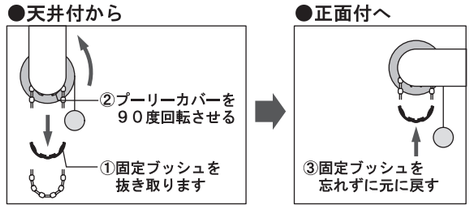


●操作時の注意点

①操作は丁寧にゆっくりとしてください。
②巻きズレ・ねじれ・肩下がりなどの症状が発生した場合は、P.10を参照してください

■天井付から正面付への切替方法

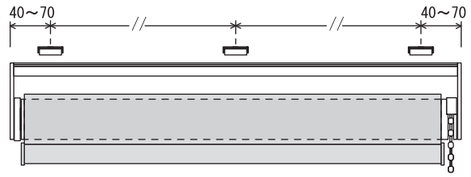
固定ブッシュを抜き取りカバーを90度回転しブッシュを戻します。



■取付方法

1　①ブラケットの取付位置は、製品の両端より≒40～70mm内側に、付属の両面テープでブラケットの位置決めをしてください。

３個以上の場合は、図のように間隔が均等になるように取付けてください。



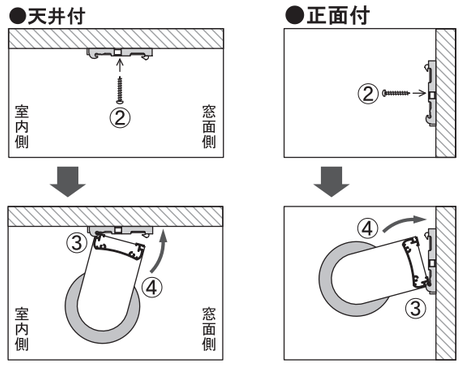
●取付時の注意点

①セットバーよりスクリーン本体をはずしますと、チェーンコネクタの位置がずれてしまう場合がありますので、はずさないでください。
②必ず本体を水平に取付けてください。水平でない場合は巻きずれの原因になります。
③同送されている取付ビスは木下地用です。
取付する箇所が荷重に耐えれるかどうか十分考慮してください。
決して石こうボードなどには使用しないでください。

2　②ブラケットを付属のネジで取り付けてください。
ブラケットの向きにご注意ください。

③セットバーをブラケットの仮止めフックに引っ掛けてください。

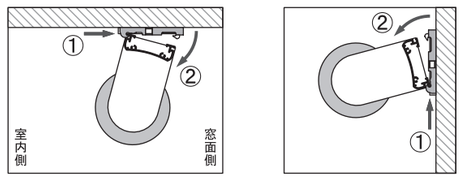
④本体を奥にカチッと押し込んでください。



■本体の取り外し方

①ブラケットのレバーを押しながら、

②セットバーを手前に引いて本体を仮止めフックから外してください。



■巻径目安表

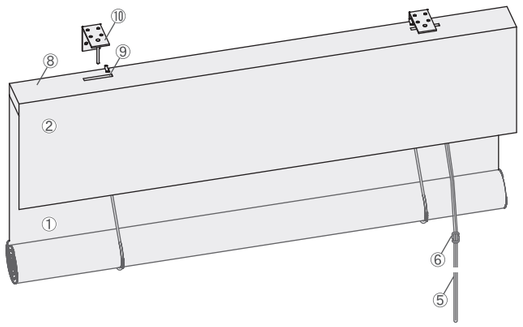
商　品　名		フォレス
品　　番		全柄
パイプの直径		φ40
H	～ 900	57
	～1200	62
	～1500	66
	～1800	70
	～2000	73

※最大製作高(H)は、W寸法に応じて異なります。

ロールアップシェード ⑥－１

ヘッドレールの前部にバランス、後部にシェード、巻上金具をセットし、操作コードを引き下げると、下部からロール状に巻き上がる昇降スタイルです。

※図は右操作・2本コード



①シェード
②バランス
③コードロック
④コードプーリー
⑤操作コード
⑥Ｓ字タッセル
⑦ウエイトバー
⑧ヘッドレール
⑨取付穴
⑩取付金具：Ｌ型ブラケット
　　：長ビス（天井付用）
⑪ウエイトバーキャップ（Ｂ）

◎操作コードの位置について

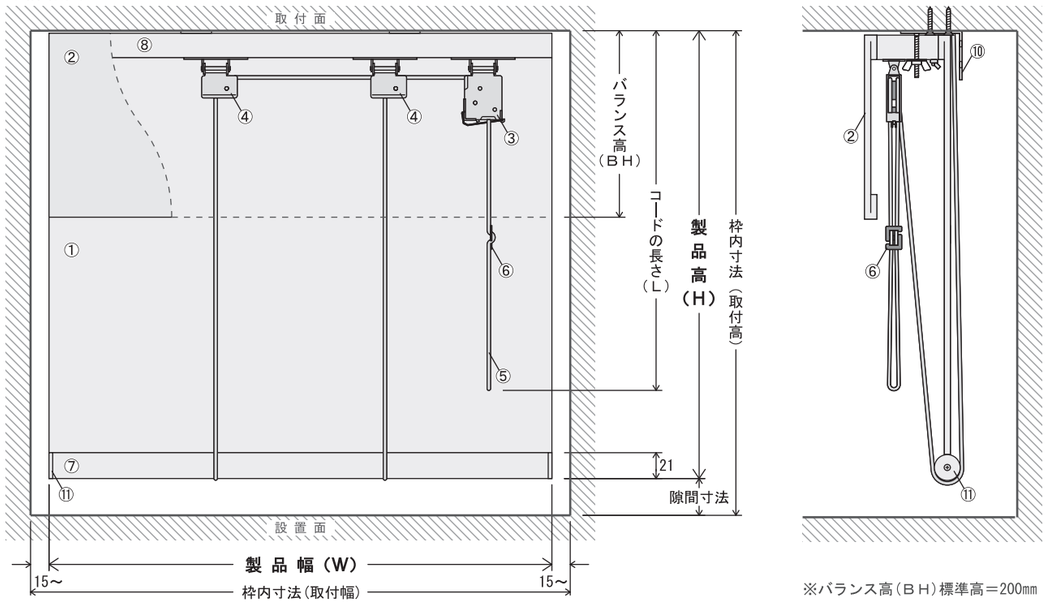
操作位置（左・右）：ご注文時にご指定ください。
※ご指定のない場合は右操作にセットとなります。

◎操作コードＬについて

商品Ｈ or 取付Ｈ	操作コードＬ
～900	400
～1200	500
～1500	600
～1800	700
～2400	製品高（Ｈ）－1100

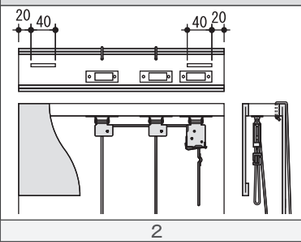
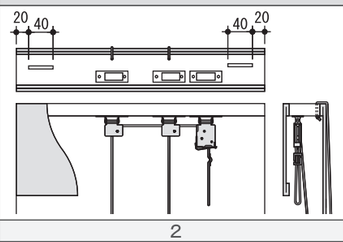
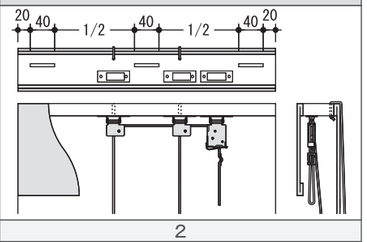
※出窓・高窓の場合や、規定以外の長さをご希望の場合は、ご注文時にご指定ください。

●詳細図



※バランス高（ＢＨ）標準高＝200㎜

■製品幅による各形状・昇降コード本数・取付金具標準数①

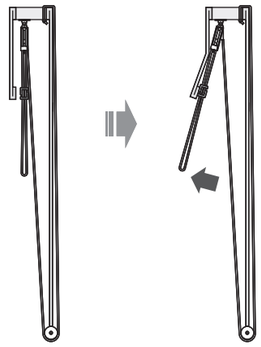
製品幅（W）	～W800	～W1200	～W1800
形　状			
昇降コード本数	2	2	2
取付金具標準数	2	2	3

ロールアップシェード ⑥－２

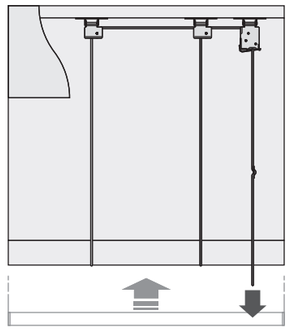
■操作方法

●シェードを上げる場合

1 両手で操作コードをしっかりと握りながら、操作コードをやや手前に傾けます。

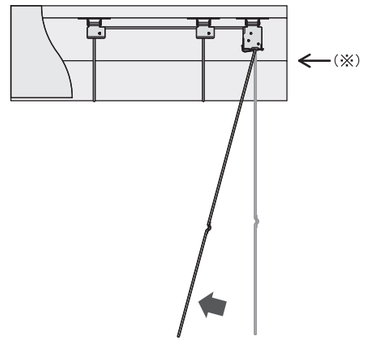


2 両手で操作コードをゆっくりと、垂直にして下に引きます。



※途中で両手を離さないようご注意ください。

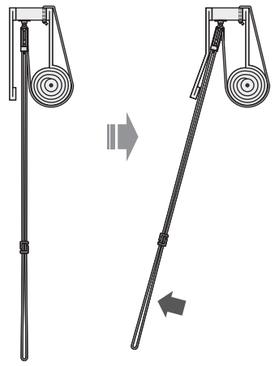
3 ご希望の位置になりましたら、操作コードを内側に引いて、確実にロックさせます。



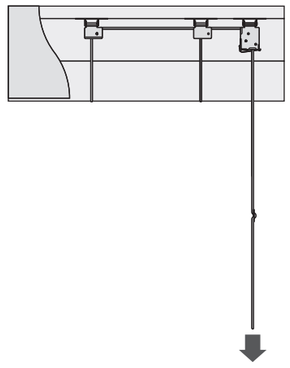
※コードロックに、シェードが当たらない位置で止めてください。

●シェードを下げる場合

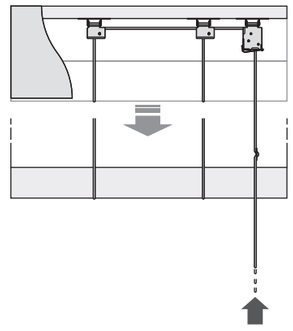
1 両手で操作コードをしっかりと握りながら、操作コードをやや手前に傾けます。



2 両手で操作コードをやや下に引きますと、ロックが解除されます。



3 ロック解除された状態で操作コードは垂直のまま、両手を離さずにゆっくりと操作コードを上に戻しながらシェードを下げます

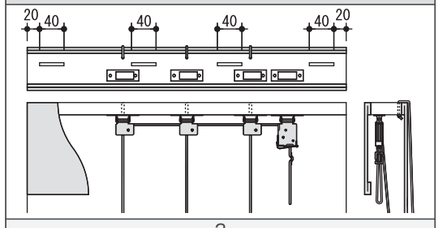


※途最後まで両手を離さないようご注意ください。
※途中で止めたい場合は、上げる場合を参照してください。

●操作時の注意点

①図は右操作の場合です。左操作の場合は逆の手順で操作してください。
②シェードを下げる場合は、必ず下がりきるまで両手を放さずに操作してください。途中で手を放してしまうと、無理な力がかかり破損・故障の原因になります。
③取付位置が高い場合は、操作がしにくい場合があります。
④下部で止めようとすると、シェードが軽いためにロックしにくい場合があります。

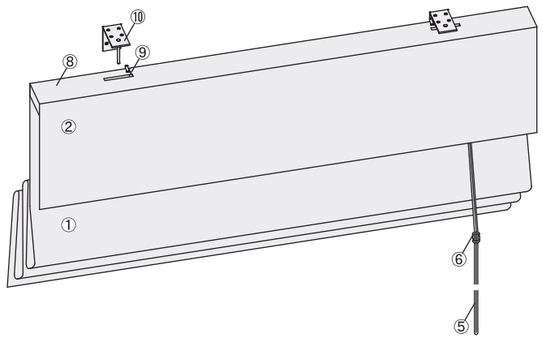
■製品幅による各形状・昇降コード本数・取付金具標準数 ②

～W2400

3
4

ローマンシェード ⑦－１

ヘッドレールの前部にバランス・後部にシェード・巻上金具をセットし、操作コードを引くと下方から折りたたみながら上がる昇降スタイルです。

※図は右操作・2本コード



①シェード
②バランス
③コードロック
④コードプーリー
⑤操作コード
⑥Ｓ字タッセル
⑧ヘッドレール
⑨取付穴
⑩取付金具：Ｌ型ブラケット
　　：長ビス（天井付用）
⑫ハトメ
⑬リング

◎操作コードの位置について

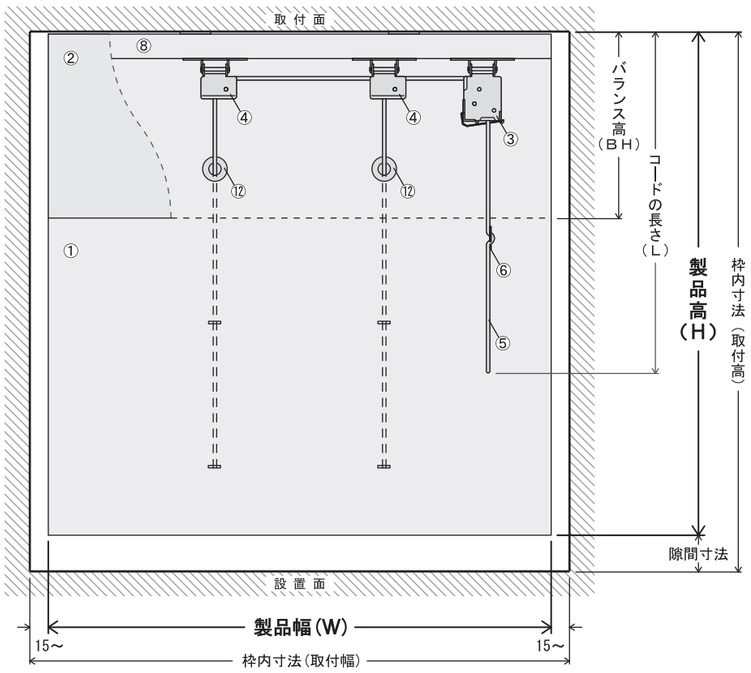
操作位置（左・右）：ご注文時にご指定ください。
※ご指定のない場合は右操作にセットとなります。

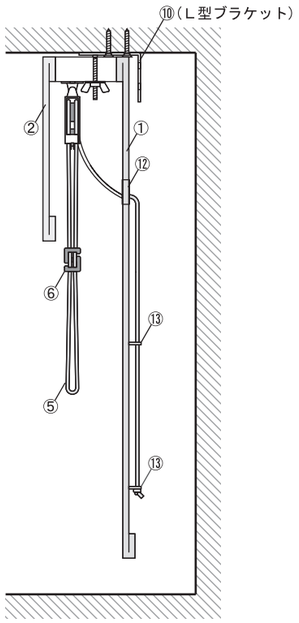
◎操作コードＬについて

商品Ｈ or 取付Ｈ	操作コードＬ
～900	400
～1200	500
～1500	600
～1800	700
～2400	製品高（Ｈ）－1100

※出窓・高窓の場合や、規定以外の長さをご希望の場合は、ご注文時にご指定ください。

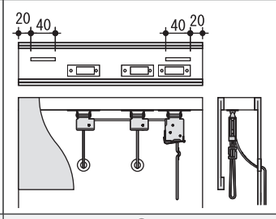
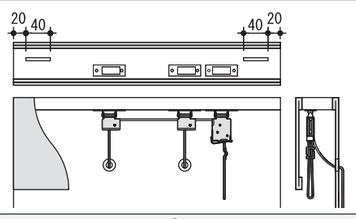
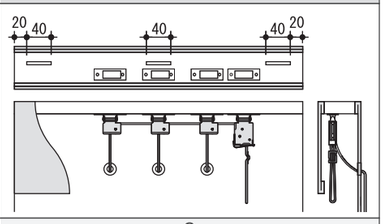
●詳細図





※バランス高（ＢＨ）の標準高：200㎜

■製品幅による各形状・昇降コード本数・取付金具標準数①

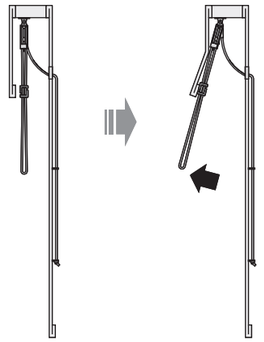
製品幅（Ｗ）	～Ｗ800	～Ｗ1200	～Ｗ1800
形　状			
昇降コード本数	2	2	3
取付金具標準数	2	2	3

ローマンシェード ⑦－２

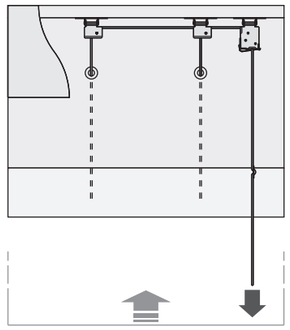
■操作方法

●シェードを上げる場合

1 両手で操作コードをしっかりと握りながら、操作コードをやや手前に傾けます。

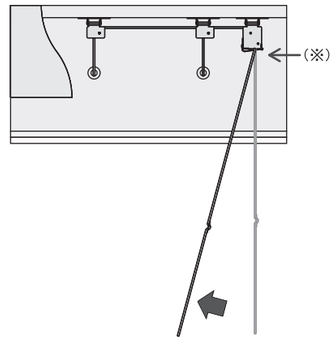


2 両手で操作コードをゆっくりと、垂直にして下に引きます。



※途中で両手を離さないようご注意ください。

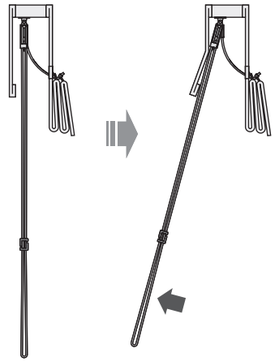
3 ご希望の位置になりましたら、操作コードを内側に引いて、確実にロックさせます。



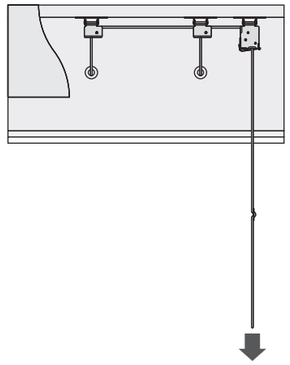
※コードロックに、シェードが当たらない位置で止めてください。

●シェードを下げる場合

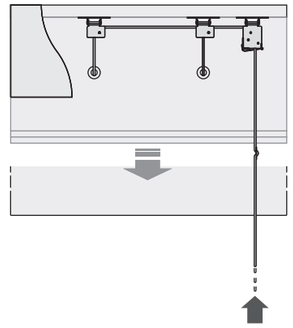
1 両手で操作コードをしっかりと握りながら、操作コードをやや手前に傾けます。



2 両手で操作コードをやや下に引きますと、ロックが解除されます。



3 ロック解除された状態で操作コードは垂直のまま、両手を離さずにゆっくりと操作コードを上に戻しながらシェードを下げます

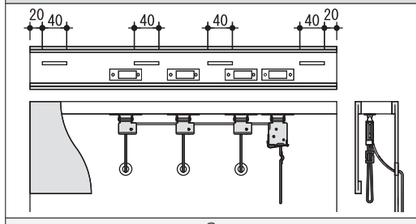
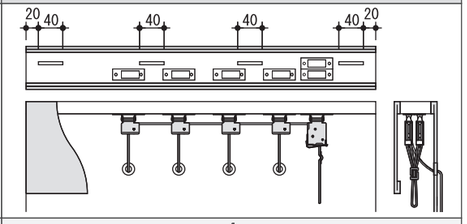


※最後まで両手を離さないようご注意ください。
※途中で止めたい場合は、上げる場合を参照してください。

●操作時の注意点

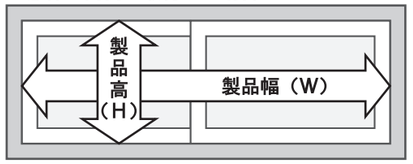
①図は右操作の場合です。左操作の場合は逆の手順で操作してください。
②シェードを下げる場合は、必ず下がりきるまで両手を放さずに操作してください。途中で手を放してしまうと、無理な力がかかり破損・故障の原因になります。
③取付位置が高い場合は、操作がしにくい場合があります。
④下部で止めようとすると、シェードが軽いためにロックしにくい場合があります。

■製品幅による各形状・昇降コード本数・取付金具標準数 ②

～Ｗ2100	～Ｗ2400
	
3	4
4	4

■採寸方法ー①

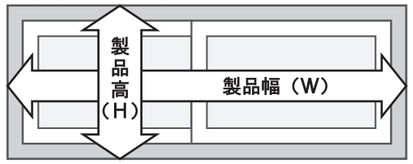
●窓枠の内側に取付する場合



①製品幅(W)＝窓枠の内側寸法(W)ー隙間寸法（３０㎜以上）

②製品高(H)＝窓枠の内側寸法(H)ー取付金具のH寸法ー隙間寸法

●窓枠の外側に取付する場合



①製品幅(W)＝窓枠の外側寸法（両端に壁面など障害物がない場合）
※障害物がある場合は、障害物より片側１５㎜以上差し引いてください。

②製品高(H)＝窓枠の外側寸法
※床などの設置面がある場合は、隙間寸法を差し引いてください。

●採寸方法の注意点

①製作寸法は、W：H＝１：３が限度です。
②取付位置が高い場合は操作がしにくい場合があります。
③連装・バランス幅を指定される場合は、採寸方法ー②・③をご覧ください。
④窓枠の外側に取付し、昇降時に生地が窓枠などに接触したくない場合は、
＜窓枠の内側に取付する場合＞と同じ要領で計算してください。
⑤ローマンシェードで生地が伸びた場合や、床面に接触するのを好まれない場合は、
P.18の下部特注仕様(ローマンシェードのみ)をご覧ください。

※生地(シェード)の伸縮・操作コードの溜まりについては、ローマンシェード・ロールアップシェードよりもロールスクリーンＡ（Ｂ）の方が適しています。
伸縮・操作コードの溜まりが気になる場合は、ロールスクリーンＡ（Ｂ）をおすすめします。

●製品高(H)の隙間寸法の目安

取付高	隙間寸法
～1000	20㎜以上
～1500	25㎜以上
～2400	30㎜以上

表を参考に、設置面からの取付高の寸法に準じた隙間寸法を差し引いてください。
取付金具の寸法は取付方法の項目を参考にして、隙間寸法とは別に差し引いてください。

●製品高(H)の計算方法

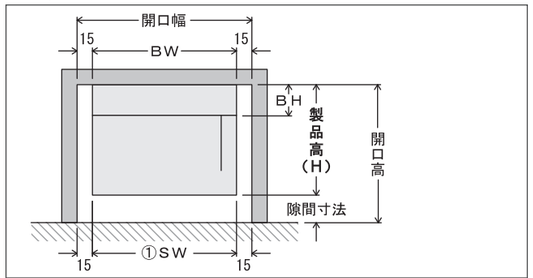
例）取付高1800/Ｌ型ブラケット/天井付の場合
◎製品高(H)＝1800ー30(隙間寸法)＝ 1770

※腰窓などの場合は、隙間寸法を差し引かない場合もあります。

■採寸方法ー②　標準の場合

バランス高(ＢＨ)＝通常200㎜がセットされています。ご注文時にご指定くだされば、お好みに応じて高さを変更できます。
※200㎜を超える場合は、製品高(H)に長くなるサイズを足した価格をご覧ください。

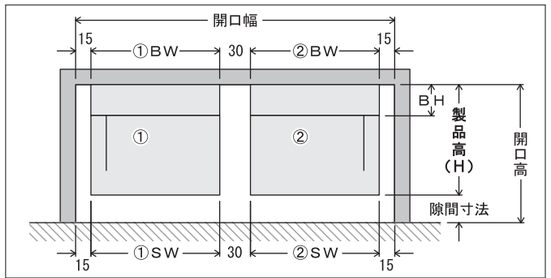
●単装の場合



例）開口寸法 W1000×H2000　内付・天井付の場合

ＢＷ：970
ＳＷ：970×Ｈ：1970（右）×1台

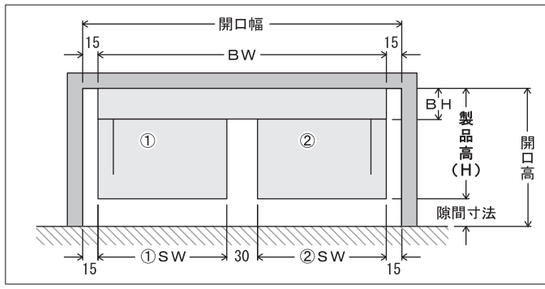
●連装の場合



例）開口寸法 W2000×H2000　内付・天井付の場合

①ＢＷ：970
ＳＷ：970×Ｈ：1970（左）×1台
②ＢＷ：970
ＳＷ：970×Ｈ：1970（右）×1台

●１バランス２シェードの場合



例）開口寸法 W2000×H2000　内付・天井付の場合

ＢＷ：1970
①ＳＷ：970×Ｈ：1970（左）×1台
②ＳＷ：970×Ｈ：1970（右）×1台

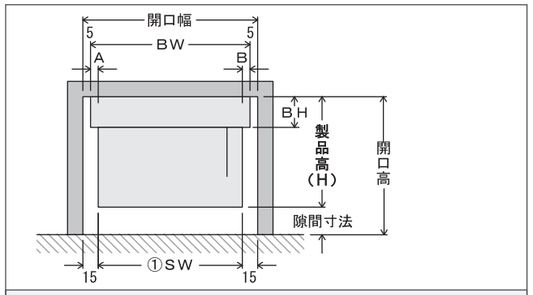
※バランス最大幅は、製品の生地によって異なります。

■採寸方法ー③　バランスを延長される場合

①バランス高(ＢＨ)＝通常200㎜がセットされています。お好みに応じて高さを変更できます。
※200㎜を超える場合は、製品高(H)に長くなるサイズを足した価格をご覧ください。

②バランス幅(BW)＝通常は、ＳＷと同じサイズですが、ボックスのサイズに応じてバランスのサイズを延長することができます。
Ａ・Ｂの寸法をご指示ください。

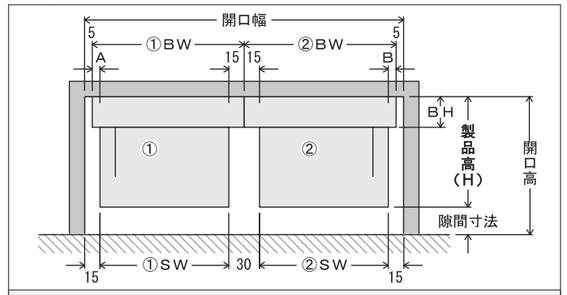
●単装の場合



例）開口寸法 W1000×H2000　内付・天井付の場合

ＢＷ：990（Ａ・Ｂ＝10㎜）
ＳＷ：970×Ｈ：1970（右）×1台

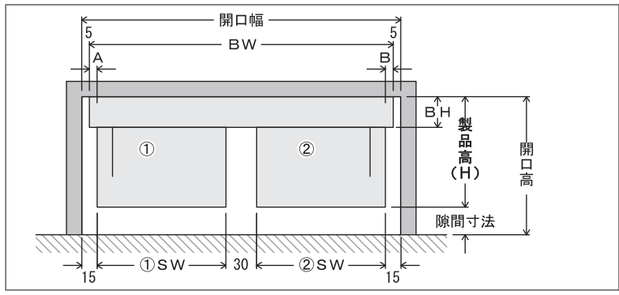
●連装の場合



例）開口寸法 W2000×H2000　内付・天井付の場合

①ＢＷ：995（Ａ＝10㎜）
ＳＷ：970×Ｈ：1970（左）×1台
②ＢＷ：995（Ｂ＝10㎜）
ＳＷ：970×Ｈ：1970（右）×1台

●１バランス２シェードの場合



例）開口寸法 W2000×H2000　内付・天井付の場合

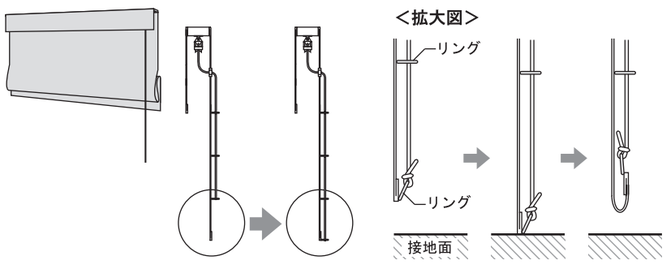
ＢＷ：1990（Ａ・Ｂ＝10㎜）
①ＳＷ：970×Ｈ：1970（左）×1台
②ＳＷ：970×Ｈ：1970（右）×1台

※バランス最大幅は、製品の生地によって異なります。

■ローマンシェードの下部特注仕様について

天然素材を使用しているすだれの性質により、生地が伸びる場合があります。
（マニュアルP.21・22参照）
そのため、通常仕様のローマンシェードの場合は一番下まで下ろすと、
生地が伸びることによって、床面などに接地する場合があります。

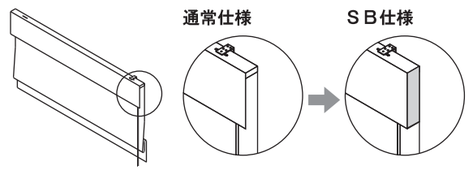
床に接地してしまうのが問題のある場合は、下部特注仕様をご注文時にご指示してください。
※下部特注仕様は、最下部にもリングを取付けることによって、生地が伸びた場合でも、
伸びた分を後部に上げることができます。



■サイドバランス（ＳＢ）仕様について

正面付けなどの場合に、ヘッドレールの木口を見えないようにすることができます。

通常は付いておりませんので、ご注文時にご指示ください。
※サイドバランス（ＳＢ）仕様を指示していただいても、
価格は変わりません。

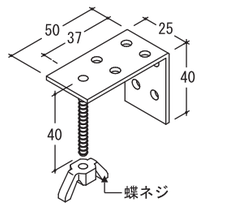


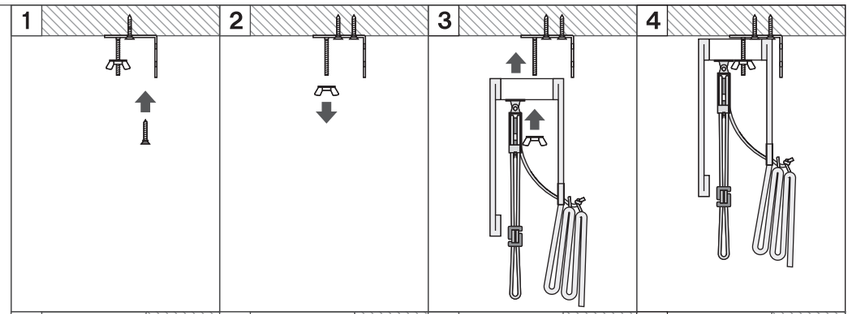
■取付方法　※製品に同梱されている＜Ｌ型ブラケット＞もしくは＜長ビス＞で取付します

●Ｌ型ブラケットで取付する場合

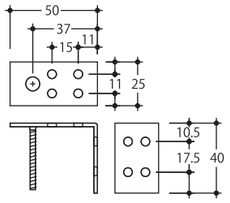
天井付

＜ブラケット寸法図＞



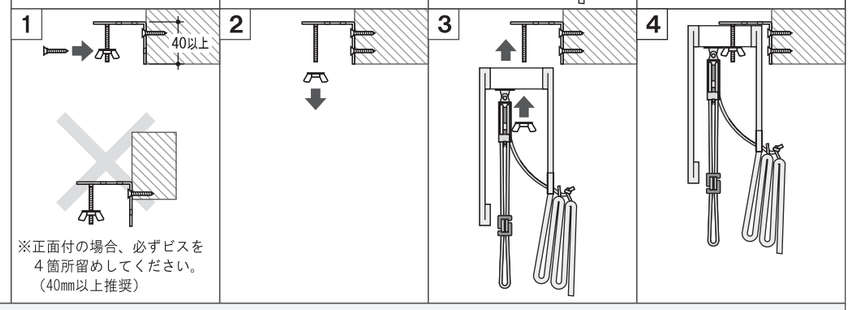


正面付



蝶ネジ

4×20 ネジ(4個)



※正面付の場合、必ずビスを４箇所留めしてください。（40㎜以上推奨）

取付方法

①ヘッドレールの取付穴の位置にあわせて、取付面にＬ型ブラケットを取付します。
②取付が出来ましたら、蝶ビスを外しておきます。
③ヘッドレールの取付穴を、Ｌ型ブラケットのボルトに差し込み、蝶ネジで仮止めします。
　※Ｌ型ブラケットが３箇所以上の場合は、必ず中心から蝶ネジを仮止めしてください。
　※ボルトを通しにくい場合は、本体のコードロックを解除してシェードを下ろしておきます。
④取付位置を左右に微調整して位置が決まりましたら、蝶ネジを最後まで締めて完全にヘッドレールを固定します。

●長ビスで取付する場合

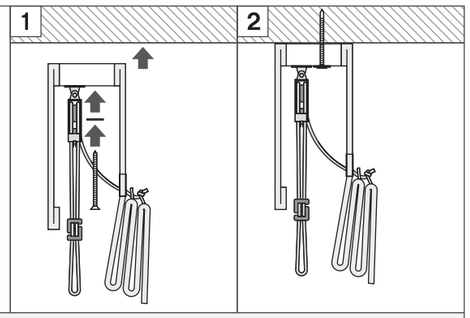
天井付

＜長ビス＞

4×50　ブラスタッピングビス

ワッシャ

※長ビスは天井付のみです。



取付方法

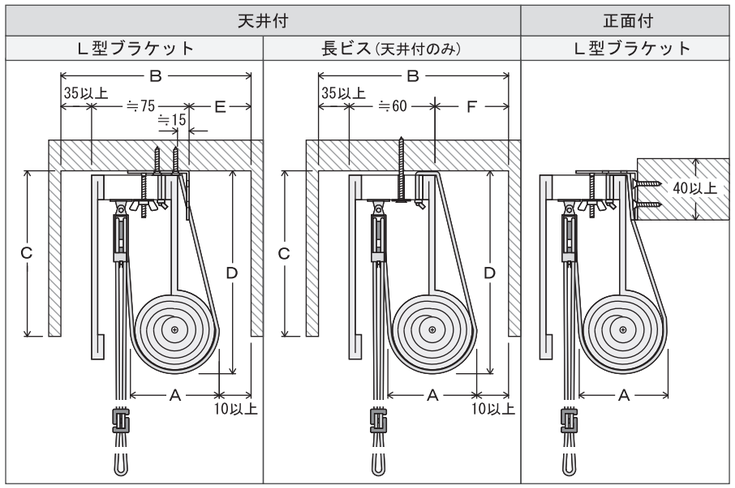
①ヘッドレールの取付穴の位置にあわせて、長ビス・ワッシャで天井に直接取付けます。
　※長ビスは必ず中心から取付し、本締めではなく仮止めします。
　※長ビスを取付しにくい場合は、本体のコードロックを解除してシェードを下ろしておきます。
②全ての長ビスの取付けが終わりましたら、取付位置を左右に微調整します。
　位置が決まりましたら、長ビスを最後まで締め、完全にヘッドレールを固定します。

●取付時の注意点

①Ｌ型ブラケット・長ビス及び、製品の取付は必ず水平状態で取付してください。水平でない場合は取付けに支障が出たり、製品にも支障が出ます。
②Ｌ型ブラケット・長ビスは木下地用です。取付する箇所が荷重に耐えれるかどうか、十分考慮してください。決して石こうボードなどには、使用しないでください。

■補足資料　／　ロールアップシェード

●取付位置・取付金具について



●ボックスの大きさの目安

Ａ：巻きの直径　＝ 下の表を参照

Ｂ：ボックスの奥行き　＝
　・Ｌ型ブラケット → 75㎜＋Ｅ＋35㎜以上
　・長ビス → 60㎜＋Ｆ＋35㎜以上

Ｃ：ボックスの高さ　＝ ～140㎜程度を推奨

Ｄ：巻き上げた時の製品高（Ｈ）＝ Ａ＋100㎜

Ｅ：隙間寸法（Ｌ型ブラケット）＝（Ａ÷２）以上

Ｆ：隙間寸法（長ビス）　＝（Ａ÷２）＋10㎜以上

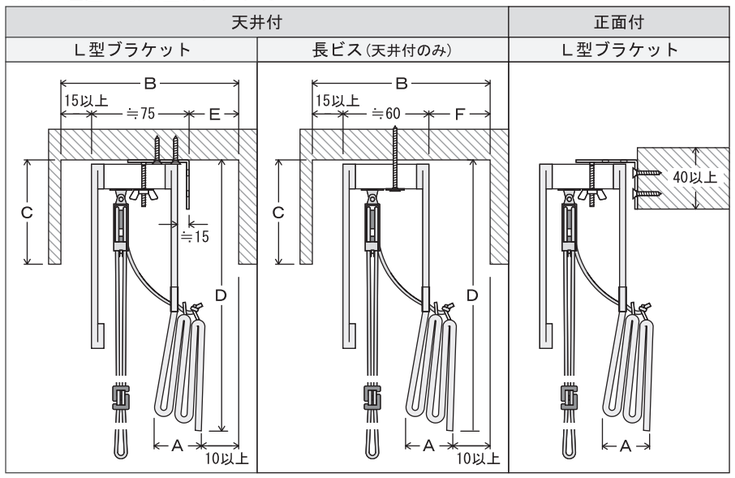
※Ｃ寸法を深く設定した場合、操作時に操作コード・コードロックがボックスに接触する場合がありますので、ご注意ください。

●巻径（Ａ）目安表

製品名		経木すだれ		風雅
生地品番		ＫＧ-31～34	ＫＧ-41～44	全柄
H	～ 900	60	60	60
	～1200	65	70	65
	～1500	70	80	70
	～1800	75	90	75
	～2100	80	100	80
	～2400	85	110	85

■補足資料　／　ローマンシェード

●取付位置・取付金具について



●ボックスの大きさの目安

Ａ：たたみ上げた厚み　＝ 目安表を参照

Ｂ：ボックスの奥行き　＝
　・Ｌ型ブラケット → Ｅ＋75㎜＋15㎜以上
　・長ビス → Ｆ＋60㎜＋15㎜以上

Ｃ：ボックスの高さ　＝ ～140㎜程度を推奨

Ｄ：たたみ上げた時の製品高（Ｈ）＝ 下の表を参照

Ｅ：隙間寸法（Ｌ型ブラケット）＝（Ａ÷２）＋10㎜以上

Ｆ：隙間寸法（長ビス）　＝（Ａ÷２）＋20㎜以上

※Ｃ寸法を深く設定した場合、操作時に操作コード・コードロックがボックスに接触する場合がありますので、ご注意ください。

●たたみ段数・Ａ・Ｄ　目安表

生地品番		たたみ段数	Ａ（㎜）			Ｄ（㎜）
			風雅	KG-31～34	KG-41～44	
H	～ 900	3	35	35	50	250
	～1200	4	45	45	60	265
	～1500	5	55	55	70	275
	～1800	5	60	60	75	300
	～2100	6	70	70	90	305
	～2400	6	75	75	95	330

製品について　⑨－１

カタログでご覧頂きました製品は、すべてオーダーメイドの受注製作となります。参考納期・価格表は下記の表示通りとなります。
※最新版（Ｖｏｌ.）は、ＨＰをご覧ください。
シーズン・台数・在庫により基準納期が異なる場合がありますので、あらかじめご確認ください。特注などにつきましては、弊社営業部までご相談ください。

カタログ名	商品名	基準納期
シェード＆スクリーン	フォレス	１週間～
	経木すだれ	
	小　紋	
	こ も れ	
	ゆ ら ぎ	
	風　雅	

カタログ名	商品名	基準納期
源氏	御　簾	４週間～
	亀甲簾	３週間～
	詩	４週間～
	時	４週間～
	小　紋　座敷簾	３週間～
	こもれ　座敷簾	３週間～
	風　雅　座敷簾	３週間～

カタログ名	商品名	基準納期
いにしえ	ベンガラ	３週間～
	柿　　渋	
	焼　　杉	
	木すだれ	
	蒲　　芯	
	御　　形	
	よ　　し	

■製品・取付上のご注意

①経時変化に伴い色の変化が生じる場合があります。特に生成色・柿渋系は、色合いの変化が顕著な場合があります。
②色調・風合いなどにおいて原材料に起因するばらつきが生じる場合があります。
③カタログの印刷された写真と実際の製品とでは、色・質感において異なる場合があります。
④製品の仕上がり寸法には、多少の誤差が生じる場合があります。また製品には伸縮が発生する場合があります。　※製品の伸縮について　参照
⑤座敷簾・神社仏閣用 御簾の縁は、シワが出る場合があります。
⑥水に濡れることが予想される場所へは取付をしないでください。カビが生える場合があります。　※カビについて　参照
⑦特有のにおいが発生する場合がありますが、これは主原料である天然素材と染料のにおいによるためです。このにおいは人体に害を与えるものではありません。
　このにおいは経時変化に伴い薄れていきますが、気になる場合はできるだけ換気をしていただくことをおすすめします。
　※商品名：いにしえの柿渋系には柿渋本来の持つ独特のにおいがあります。
⑧製品に付属の取付金具や、ブラケットの取付用ネジなどは木部用です。木部以外には使用しないでください。
⑨製品を取付けする下地の強度や材質を確認し、ブラケット取付数量と取付位置を守り、製品は水平に確実に取付してください。
　確実に下地に取付が出来ていない場合、製品が水平に取付できていない場合は、落下・巻きズレなどの原因となります。
⑩本製品の仕様・価格・意匠は品質改良や物価の変動などにより予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
⑪カタログに記載されている表示価格は、消費税を含まないメーカー希望小売価格です。採寸・取付・工事費などは含まれておりません。
⑫本製品は全て屋内用です。屋外へは取付をしないでください。
　※軒下などの半屋外（常時、雨風に晒されないような環境）でご使用される場合は、商品名：いにしえ　固定式（ES-62、ES-64、ES-31）をおすすめします。
　※巻上式は操作に支障をきたす場合がありますので、室内用とお考えください。

＜固定式 ES-62、ES-64、ES-31を軒下などの半屋外で使用される場合＞
・経時変化による損傷などは、室内使用に比較して早くなります。予めご了承ください。
　（カビの発生、金具などのサビ、染料・ベンガラ・柿渋・焼杉などの抜け・はがれなどが発生する場合があります）
・台風や雨風の強い時などは、必ず製品を取り外して安全な場所に保管してください。商品も長持ちします。
・商品の取付にはサビなどに強い金具や番線などを用意してください。商品を確実に固定し、金具・取付場所・商品の劣化などの定期点検を実施してください。

■使用上のご注意

①小さなお子様を各昇降タイプの操作コードや、オプションの金具のチェーン・テープ・紐・鉤丸・鉤・丸鉤などで遊ばせないでください。
　また同様に製品の操作などをさせないでください。各昇降タイプの操作コードや、オプションの金具のチェーンやテープ・紐・鉤丸・鉤・丸鉤などが
　体に巻きついたり、手足に引っかかるようなことをしないでください。思わぬ事故の恐れがあります。特にお子様が首をかけないように、十分にご注意ください。
②製品に物を吊り下げたり、ぶら下がらないでください。製品が破損したり、落下する恐れがあります。
③急激な操作や無理な操作は絶対にしないでください。製品の落下や故障、破損の原因となります。
④各昇降式の操作時に、生地・パイプ・ウエイトバーなどを持たないでください。
⑤各昇降式・神社仏閣用御簾・座敷簾などの昇降操作の範囲内に破損の恐れがある物や、操作の障害となる物を置かないでください。
⑥製品は決められた製品高（Ｈ）の範囲でご使用ください。範囲外でご使用になると、製品の落下・故障・破損の原因となります。
⑦メカ部の分解や可動部への注油はおやめください。故障・破損の原因となります。
⑧高温多湿・火のそば・加湿器の周辺などでは、ご使用にならないでください。
⑨風の強いときは窓を閉め、製品に当たらないようにしてください。
　※商品名：いにしえ　→半屋外などでご使用される場合は、製品を取り外して保管してください。製品が長持ちします。
⑩製品の取付状態など、定期的にご確認をしてください。
　※商品名：いにしえ　→半屋外などで取付された場合は、金具・取付場所・商品の劣化がないかの定期的なご確認をしてください。
⑪製品が汚れた場合は、ハタキなどでホコリを落としてください。水分を含んだタオルなどでは拭かないでください
⑫異常が見つかった場合は、ただちに取り外してご使用をお止めください。
⑬製品の端部や突起物にご注意ください。

■防炎商品

当社は消防庁長官が認定した製造業者です。
防炎規制を受ける防火対象物には、必ず防炎加工を施した品番をご使用ください。　　認定番号　ＡＥ-27-0064

消防庁登録番号
ＡＥ-㉗-0064
防　炎
登録確認機関名
財団法人 日本防炎協会

■防炎加工について

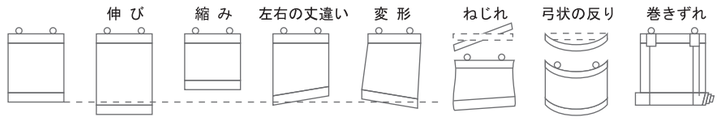
製品に使用している木(竹)材料には防炎加工が施されています。（防炎品として表示している品番のみ）
この防炎済自体は、気候・温度・湿度などによって潮解現象を起こす場合があり、それによって簾(生地)の表面が白く粉をふいたような状態になる場合があります。
※潮解現象：固体が空気中の水分を吸収して溶解する現象。白い粉は固く絞った雑巾などで拭いていただくと除去できます。

製品について　⑨－２

●製品(すだれ)の伸縮について

雨が降ったり湿度が高い時は、生地・編糸に水分が含まれることで膨張し製品を持ち上げてしまいます。これが縮む現象となり、特に梅雨の時期にはこのような現象が顕著に現れます。逆によく晴れた乾燥している時は水分が抜けて生地・編糸が収縮し、伸びる現象がおきます。
基本的に夏場は縮み、冬場に伸びるという現象が生じやすいと考えることができます。
ただし、製品の設置場所の環境によっても左右される場合が多く、夏でも乾燥している場所であれば伸び、冬でも湿度の高い場所では縮む場合があります。
特に条件の激しい場合は一日の朝晩でも丈の長さが変わってきます。他に商品の到着後は梱包時の＜折り癖＞によって、高さが多少短くなっている場合があります。
巻上タイプ・巻上式などの昇降式や、タペストリータイプ・固定式のオプションの丸鉤・巻き上げテープなどで長い間上げた状態の場合も、＜折り癖＞によって高さが多少短くなっている場合があります。※状況により、多少異なる場合があります。
製品は最終的には丈が２～５％程度伸びていく方向にあります。当社はmm単位からのオーダーをお受けしておりますが、天然素材を使用したすだれ特有の性質により、指定サイズの誤差が生じる場合があります。製品の丈伸び（※）につきましては、出荷時より一年以内であれば、当社に送って頂けると無償で丈調整させて頂きます。
※50mm以上伸びた場合に限ります。送料別途・工場での修理対応となります。現場での対応は出来ませんので、ご了承ください。

以上の理由から、「製品は伸縮し変形しやすい」
「製品の右側と左側とで丈が異なる」「弓状に反る」など、
年間を通じて安定することは難しい性質を持った製品です。
そのため、巻上式などの昇降式では巻きずれ・
製品全般ではゆがみ・ねじれなどが生じる場合があります。
※図参照



●カビについて

カビとは菌類の一群で胞子で増殖します。製品は湿度に弱く、カビが天敵です。製品は木製・竹製の他に、蒲芯・御形・よし等の植物から製作します。
これらの天然素材にはカビが生える危険性があり、特に雨のかかりやすい軒下・縁側・窓際・台所廻り・お風呂場などでは、発生度が高くなります。
カビの発生しやすい場所で使用される場合は、定期的に下記の事項を参考にメンテナンスを行ってください。カビの発生の予防になります。
ただし、本製品にカビが発生した場合には保証の限りではありません。

＜カビが発生した場合＞
①ブラシでカビを払い落とす　　（強いブラッシングの損傷に注意）
②風通しの良い場所で、３日間程陰干しする
③防カビスプレーを吹き付けると効果的です（変色する場合があります）

＜カビが発生する３つの条件＞
①温度20℃以上　（5～35℃で発育し、28℃を超えると繁殖が盛んになります）
②湿度60％　　（80％を超えると、すぐに増殖します）
③栄養分

●販売/ご注文

①カタログ名「シェード＆スクリーン」：各代理店様を通じての販売となります。直接のお取引は対応しておりません。
②カタログ名「いにしえ」　　：各代理店様を通じての販売となります。直接のお取引は対応しておりません。
③カタログ名「源　　氏」　　：各代理店様を通じての販売となります。御簾については、場合により直接のお取引にて対応しております。
④各種、簾の生地　　：各代理店様を通じての販売となります。場合により直接のお取引にて対応しております。
※ご注文後のキャンセルや変更は、オーダー品のためにお受けすることはできません。予めご了承ください。

●運賃/配送

数量は別途必要となります。（現場宛、個人様宛、一部地域・指定便・大型サイズなどは対応できない場合があります）
金額とくわしい内容につきましては、お問い合わせください。（原則として、商品のお届けは西濃運輸での配達になります）
出荷日には責任を持ちますが、着日につきましては当社では責任を持てません。納品には余裕を持ってくださるようにお願いいたします。

●保証期間

商品の到着後、直ちに製品の数量・仕様及びキズ・破損等を必ずご確認ください。万一損傷がある場合には、到着後１週間以内にご連絡ください。
この期間以降のクレームはお受けできない場合がありますのでご了承ください。天然素材本来の自然なキズなどは、ご容赦ください。
商品の保証期間は、工場出荷日より１年間です。この期間中に製品の欠陥により損傷が生じた場合には、無償にて修理させていただきます。
これ以外については、実費にての修理となります。
※工場への返品・工場での修理対応になります。現地での対応は出来ませんのでご了承ください。
※消耗品は除きます。

以下の条件に起因する場合については、当社はその責を負いかねます。
①直射日光・自然環境・経時変化・特殊環境・冷暖房等の電気製品などによる変形・変色。
②納品後の移動・輸送、不適切な取り扱いや、不注意により生じた破損・故障。
③特注加工品

●お手入れ

製品が汚れた場合はハタキ等でほこりを落としてください。決して水分を含んだタオルなどで拭かないでください。

お願い　すだれの伸縮・カビの発生などに関しましては、天然素材を使用しているすだれ特有の性質として、皆様にご理解頂きたくお願い申し上げます。

⚠ 警告

各昇降式の操作コードや、オプション金具のチェーンやテープ・紐・鉤丸・鉤などが体に巻きついたり、手足に引っかかるようなことをしないでください。思わぬ事故の原因となる恐れがあります。特にお子様が首をかけないように、十分ご注意ください。

体にまきつけないでください

引っ張らないでください